

令和5年8月25日
302会議室

令和5年第16回
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

令和5年第16回立川市教育委員会定例会

1 日 時 令和5年8月25日(金)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 3時20分

休憩① 午後 2時52分～午後2時57分

休憩② 午後 3時15分～午後3時16分

2 場 所 302会議室

3 出席者

教育長 栗原 寛

教育委員 石本 一弘 伊藤 憲春

小林 章子 小柳 郁美

署名委員 伊藤 憲春

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 齋藤 真志 教育総務課長 小林 直弘

学校施設建替担当課長 鈴木 信貴 学務課長 澤田 克己

統括指導主事 片山 伸哉 統括指導主事 野津 公輝

教育支援課長 鈴木 峰宏 学校給食課長 青木 勇

生涯学習推進センター長 庄司 康洋 図書館長 池田 朋之

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 和田 健治 柏崎 彩花

案 件

1 議案

- (1) 議案第 33 号 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について
- (2) 議案第 34 号 令和 6 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について
- (3) 議案第 35 号 令和 6 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (4) 議案第 36 号 令和 6 年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (5) 議案第 37 号 令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について

2 協議

- (1) 令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について

3 報告

- (1) 西砂図書館の臨時休館時における実施するサービス内容の変更について

4 その他

令和5年第16回立川市教育委員会定例会議事日程

令和5年8月25日

302会議室

1 議案

- (1) 議案第33号 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について
- (2) 議案第34号 令和6年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について
- (3) 議案第35号 令和6年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (4) 議案第36号 令和6年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (5) 議案第37号 令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について

2 協議

- (1) 令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について

3 報告

- (1) 西砂図書館の臨時休館時における実施するサービス内容の変更について

4 その他

◎開会の辞

○栗原教育長 ただ今から、令和5年第16回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 承りました。

○栗原教育長 よろしくお願いいたします。

次に、議事進行についてお諮りいたします。本日は、議案4件、協議1件、報告1件でございますが、2協議(1)令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、は本日の協議において教育委員会としての意見がまとまり次第、本定例会において追加議案として提出させていただきたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。また、通常ですと議事進行はお配りしました議事日程の順となりますが、先ほど申し上げた理由により議事の順番を変更し、2協議(1)令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、を最初に行いたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 それでは、2協議(1)令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、は本定例会の最初にご協議いただき、教育委員会としての意見がまとまり次第、本日、本定例会において追加議案として提出をさせていただきます。

次に、出席者の確認を行います。齋藤教育部長、お願いいたします。

○齋藤教育部長 本日、第16回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学校施設建替担当課長、学務課長、片山統括指導主事、野津統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長、以上でございます。

◎協 議

(1) 令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について

○栗原教育長 それでは、2協議(1)令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、を議題とします。教科用図書の調査研究の成果を踏まえ、それぞれの教育委員からご意見をいただき、教育委員会の権限と責任におきまして協議を進めてまいります。

協議に入る前に、片山統括指導主事より説明をお願いいたします。

○片山統括指導主事 それでは、前回に引き続き本協議を続けて、教科ごとの発行者について絞っていただければと思います。審議のほうをよろしくお願いいたします。

以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

それでは、教科ごとに進めてまいりたいと思っております。本日につきましても、今申し上げます

したとおり、前回第15回教育委員会定例会と同様に教科ごとに各委員のご意見を賜る形で進めてまいります。また、協議が整った段階で改めて議案として提案し、令和6年度使用立川市立小学校教科用図書を採択してまいります。

それでは、まず国語からそれぞれの委員のご意見をお願いします。

初めに、石本委員、お願いいたします。

○石本委員 国語については、教科書の学習のポイントが分かりやすくすっきりしている、ということは指導しやすい、そういうことが私の中では決定事項として、東京書籍にいたしました。

以上です。

○栗原教育長 続きまして、伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も東京書籍を推したいと思います。ほかの教育出版、光村図書もやはり長い実績を持つ会社でございまして、とてもいい教科書ではないかなと思っておりますけれども、やはり立川の子どもに合っているのかという点と、それから教員が授業をしやすい、またいろいろな意見が出やすいという点を、これは国語だけではなくて全体的に考えさせていただきました。この中からは東京書籍が若手からベテランまで授業がしやすいのではないかなという気がいたしますので、推薦したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小林委員、お願いいたします。

○小林委員 私も東京書籍を選ばせていただきます。めくってみた感じが、上下の余白が小さくて文字が大きくととても見やすい印象がありました。それから、「言葉の力」という表現でポイントが分かるようになっていて、取り上げる内容も、例えばプラスチックごみの問題や、インターネットのことや、原爆のことや、手塚治虫の伝記などいろいろありますけれども、読み物として読むと、とても興味の湧く内容が多かったような気がいたします。

それから、ほかの出版社もそれぞれにいろいろな工夫を凝らしていましたが、特に私は光村図書の5年生のやなせたかしさんのアンパンマンの勇気という内容には少し心が引かれました。

以上です。

○栗原教育長 では、小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も東京書籍を推薦したいと思います。理由は、教科用図書調査研究部会の結果と、先生のアンケートも比べてみながら、まず見やすく全体的にすっきりしているところがとても大きな特徴なのかなと思ったからです。加えて、東京書籍はデジタルコンテンツが用意されていて、自分のペースで復習したり、少し先に進んだりということができるといのがほかの発行者と違い、そのコンテンツが豊富なのかなと思いました。私も東京書籍がいいと思っていましたが、先生側の立場に立つと、今どのような力を付けているのかが見てよく分かるというコメントもありましたので、先生方もそう思っているという事で、東京書籍にしたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 私からも国語について意見を申し上げます。

前回の定例会で選定のポイントについて述べました。私自身も総合的に見て東京書籍を推したいと考えております。理由として何点かございますが、まず1点目が、言葉の力を身に付けさせるための学習の流れが明確であること。また、用語の解説が分かりやすく、系統立てられているため若手教員でも指導しやすいこと。デジタルコンテンツが充実しており、子どもたちが自学自習をする場合に適していること。その点を評価したところでございます。

それでは、皆さんのご意見を賜りましたが、国語につきましても東京書籍ということで最終的にまとめていきたいと思いますが、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、国語につきましても東京書籍ということでまとめてまいります。

次に、書写に対してのご意見をお願いいたします。

これにつきましても、石本委員からお願いいたします。

○石本委員 書写ですので、払いや止めなどが分かりやすいという点が大事だと思っておりますけれども、光村図書は左利きの方のためにも手本が充実しています。ご家庭でご家族がお子さんの学習のサポートもしやすい工夫もされていて、内容もすっきりしているので、私は光村図書がいいと思います。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も、今の石本委員と同様にやはり持ち方が分かりやすい、特に光村図書の場合には毛筆と鉛筆硬筆ともに分かりやすいという意見がございますので、私は光村図書を推薦したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 続きまして、小林委員、お願いいたします。

○小林委員 私も光村図書がいいと思います。1年生で最初は鉛筆の持ち方ですけれども、右手と左手の持ち方が両方出ていますし、しかも2次元コードでとても詳しく解説してありました。最初に変な持ち方をしてしまいますと、それがくせになってしまいます。この辺はとても大事かと思しますので、丁寧に解説しているのはとても良いかなと思いました。

あとは、線のはねや、曲がりや、反りなど、それがそれぞれの発行者で工夫はしていますが、光村図書ではネコのイラストで表現していきまして、それがかわいくて1年生の印象に残るのではないかなと思いました。

以上です。

○栗原教育長 続きまして、小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 教育出版と光村図書で悩んでいましたが、教育出版は片仮名の「シ」と「ツ」の書き方がとても分かりやすく、子どもはなかなか苦戦するところなのでいいなと思ったのですが、私も光村図書さんを推薦します。なぜかという、左利きの子が書く時に参考にする

る動画などがとても分かりやすいからです。今、左利きの子も増えているので、こういったことは先生方にとっても役に立つコンテンツだと思います。あとは、情報量が適度でシンプルな構成だなという印象を持ったので、光村図書を選びたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。私からも書写について意見を申し上げます。

少し他の委員と意見が重複しますが、総合的に見て私も光村図書を推したいと考えております。1ページ内の情報量が精査されており、子どもたちに分かりやすく、教員にとっても指導のしやすさがあるということが理由です。

それでは、今、教育委員の皆さまのご意見を賜りましたが、書写につきましては光村図書ということで最終的にまとめてまいります。皆さん、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、書写につきましては光村図書ということでまとめてまいります。

次に、社会に対してのご意見をお願いいたします。

こちらにつきましても、石本委員、お願いいたします。

○石本委員 社会科は、使う、調べる、学ぶとよくいわれますけれども、考え方を育てるというのはとても大事だと思います。教育出版の教科書は、資料にここが大事だぞというポイントがとても分かりやすく取り上げられていて、子どもたちもそうですし、授業をリードしていく先生方もこの教科書に従って学習を進めていくと身に付ける力、学ばなければならないことを獲得できるのかなと思いますので、教育出版がよろしいかと思います。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 東京書籍の教科書はやはり年表のつけ方が非常に分かりやすく、立川においても以前より使用されているところですが、6年生の選挙に関する表現などがやはりとても気になりました。その中では、やはり日本文教出版より東京書籍、東京書籍よりも教育出版というような印象を受けましたので、私は教育出版の教科書を推薦したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 どの会社も登場人物、キャラクターがいて、子どもたちが紹介をしていくような形になっていますが、その人物が教育出版は車いすの子がいたり、外国にルーツのある子がいたりと多様性に配慮していると感じます。ほかのところは日本人ばかりなのかなという気がしました。

そして、教育出版は学習の進め方が、つかむ、調べる、まとめる、つなげる、この流れがはっきりしてしまっていて、ほとんど全部のページに今ここの部分をやっていますよというのがきちんと出ています。それは細かい配慮だなと思いました。また、この流れでいきますと、昔は社会は覚える教科でしたが、今はそのような感じがなくて、先生方もこの流れで進めていただければありがたいなと思いました。

それから、社会というのは人で成り立っているということがよく分かるような部分がありました。それは人の話がたくさん出てくるからで、市役所の人や、戦争を体験したおばあさんの話や、スーパーでお仕事をしている方の話や、農家の方のお話など、実際の人のお話、インタビューのようなものが載っているので、実感としてよく捉えられるのではないかなという気がいたしました。

それから、社会の歴史の年表が真ん中であって、見開き6ページを取っていて、詳しくて全体が見えるので、ここもいいかなと思ひまして、私は教育出版を選びたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 東京書籍と教育出版で非常に悩み、東京書籍も教育出版も良かったのですが、教育出版を選びたいと思います。どちらも、つかむ、調べる、まとめるという、今何をしているのかというのがとても分かりやすかったのですが、教育出版のほうがいいなと思ったもう一つの理由は、自主的、積極的に勉強できる社会科の学習の仕方のページが充実していて、少し先を勉強してみようと思ったら自分でやれるというところが、それぞれのペースに合わせて学習していくことができるのかなと思ひました。生徒の自主性を尊重し、どんどん自主的に勉強してもらいたいという思いを込めて、教育出版を選びたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 私からも社会について意見を申し上げます。

これにつきましても各教育委員の意見と重複する部分がございますが、総合的に見て私も教育出版を推したいと思っております。4年間を通して社会科の授業の流れ、つかむ、調べる、まとめる、つなげるが統一されており、各流れの中で次につなげるための文言が書かれており、見方、考え方を整理しやすい構成となっているところを評価したところでございます。

それでは、教育委員の皆さんのご意見も賜りましたが、社会につきましては教育出版ということで最終的にまとめてまいります。皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、社会につきましては教育出版ということでまとめてまいります。

次に、地図に対してのご意見をお願いいたします。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 地図については二者択一で前回は悩んでいると申し上げましたけれども、どちらもとてもすっきりして使いやすい地図だなと思ひました。資料が豊富で、話題性が高く、多様な学習につながっていく、そういうことも考えて、私は最終的に帝国書院に決めました。

以上です。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も同様に分かりやすいかなというところと、まずは地図の雰囲気は本当に慣れ

ています。ですから、例えば子どもたちが質問をしたり場所を探すという場合に先生方もすぐ示すこともできるし、先生方が何しろ使いやすいのではないかなという気がいたしますので、帝国書院を推したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 私も帝国書院がいいと思います。色合いが東京書籍と少し違って、赤くて淡い感じで、それでいてはっきりして見やすいという気がいたしました。それと、前回は申し上げましたけれども、20万分の1の地図があるというのは興味深かったです。

それから、統計のほうで一番新しい資料は、2021年のゴミ排出量や森林面積の割合などです。東京書籍のほうは2020年の資料しか見られませんでした。探し足りなかったのかもしれませんが、そのような違いがありました。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も帝国書院を選びたいと思います。私自身も見やすいと思ったのと、先生たちの意見を拝見しても見やすいということでしたので、帝国書院にします。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、私からも地図について意見を申し上げます。

私も総合的に見て帝国書院を推したいと考えております。理由といたしましては、地図学習の導入部分の説明が丁寧で扱いやすいこと、玉川上水が見やすく、多摩地域に親しみが持ちやすい、そのようなページがあること、調べ学習で使用する事が多く、インデックスが見やすいこと、そこを評価いたしました。

それでは、教育委員の皆さんのご意見を賜りましたが、地図につきましては帝国書院ということで最終的にまとめてまいります、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、地図につきましては帝国書院ということでまとめてまいります。

次に、算数に対してのご意見を申し上げます。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 一言で言いますと学習の展開そのものがとても分かりやすくなっているので、東京書籍にしたいと思います。立川は若手の先生も多いので、そういう意味でも大事ななと思っています。それから、選定検討委員会の調査報告を見ますと発行者名がたくさん出てきますが、最も発行者名の出る回数が多かったとも思います。

以上です。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も最終的には東京書籍を推薦したいと思っております。細かいところを少しずつ比較しながら見せていただいた時に、例えば円の面積等に関しては教育出版の解説がとても分かりやすかったというのが印象的ではありますが、何しろ問題解決の過程がとて

も分かりやすく押さえられているという意見があり、東京書籍がいいのではないかなと思われました。若手からベテランまでが教えやすいという点が、各者さまざまな工夫を凝らしている中で一番これがいいと思う一つの決め手ではございます。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。小林委員、お願いいたします。

○小林委員 東京書籍がいいと思えました。自分が文系で数字が苦手なものですから、1年生の最初にどういう気持ちで算数を学ぶかというのは大事なかなと思ひまして、各者1年生の最初を別冊にしたりという工夫がされていますけれども、東京書籍は粘土の人形を使ったりしてとてもかわいらしくて目を引くかなと思います。それから、文字が大きいので、1年生には抵抗がないかなと思ひました。そして、6年生でも東京書籍は中学へのつながりのようなことを詳しく取り上げていました。それから、2年生から「ふりかえりコーナー」という、忘れた時に戻って学べる復習の部分がありました。何回も繰り返して学ぶことは必要なので、これはいいことかなと思ひました。

それから、巻頭に有名人の体験や思いなどという文章が「私と算数」というタイトルで載っていて、算数がどうして必要なのかということが有名人の方の話を読んで分かるようになっていて、私もなるほどと感じたぐらいですので、これはとても効果的でいい内容ではないかなと思ひました。

2次元コードがどの発行者の教科書にもありますが、何の内容が出てくるのか分からないものが結構あります。しかし、東京書籍は2次元コードのところにはこれは練習ですとか、資料ですとか、シミュレーションですなどときちんと書いてあり想像がつくので、これを見てもみようという気持ちになったり、これは後で見ればいいやとなったり、きちんと判断ができます。その辺をはっきりさせているというのはとてもいいところだなと思ひました。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も東京書籍を選びたいと思ひます。東京書籍と学校図書は、どちらの教科書も「それなら次は」など、この問題を理解した後でもっと難しい問題に導くようなところがあってどちらもいいなと思ひましたが、先生方の意見や教科用図書調査研究部会の内容を伺うと、やはり使い慣れている点、授業時間で練習問題まで取り組める程度の学習量を計算されてページになっている点、デジタルコンテンツが豊富なので、自分で自主的に勉強できる点もいいなと思ひました。九九認定証が付いている点も、賞状がもらえてもっと頑張ろうという気持ちになると思ひましたので、東京書籍を選びたいと思ひます。

以上です。

○栗原教育長 私からも算数について意見を申し上げます。

私も総合的に見て東京書籍を推したいと考えております。理由としましては、学習の流れが分かりやすく、若手教員であっても数学的活動を通して子どもたちの学習指導をしやすいものであるということが一点です。それから、今の教科書もそうですけれども、登場人物の

せりふや発展学習コーナーなど習熟度に応じた発展的な学びへと進められる工夫が、東京書籍が一番優れていると感じたところでございます。

それでは、教育委員の皆さんにご意見を賜りましたが、算数につきましては東京書籍ということで最終的にまとめてまいります、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、算数につきましては東京書籍ということでまとめてまいります。

次に、理科に対してのご意見をお願いいたします。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 理科という教科書は、実験が他の教科にはない点で、これがとても大事で、理科好きになるかどうかというのはやはり実験が大事です。その実験が失敗した時の危険性などの配慮もとても大事ですし、それが分かりやすくなっている点、それから、教科書全体も分かりやすく丁寧で、とにかく子どもたちが理科的な発想というのでしょうか、特に実験ですが、興味を持てるような工夫が一番されていて見やすいと思いますので、私は教育出版にしたいと思います。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も石本委員と同様に実験というところをととても大事にしたいと思っています。前回の選定時よりも各者が実験でかなりいろいろな表現を分かりやすく変えていたり、よくできているなと思いました。ただ、実験というのは注意をしないと何かの事故につながったりします。その事故に関しての注意、こういうことをしてはいけないよとか、こういうところに注意なさいという表現が、教育出版が圧倒的に分かりやすく書いてあったと思いますので、私も教育出版を推薦したいと思います。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 私も教育出版を選びたいと思います。今お2人の委員がおっしゃったように実験のこと、裏表紙に安全の手引きや器具の扱い方などが出ていますので、ページをめくらなくてもすぐに見られるというレイアウトがいいなと思いました。

それから、QRコードが適量というか、それほど頻繁にあるわけでもなくちょうどいい量で、内容が分かりやすいと思いました。図鑑として使用でき、厚い図鑑を持っていかなくてもQRコードで調べられるのはいいことだと思います。

理科の目的で、3年生は『なぜ?』をさがしにいこう」、4年生は「この先をそう像しよう」、5年生は「解決する方法を考えよう」、6年生は「自分のこととして考えよう」というように、その目的をはっきりさせています。そして、何よりも立川の写真がたくさん載っています。数えただけでも5枚ぐらい見つかりました。これは子どもたちがうれしいかなと思いました。

以上です。

○栗原教育長 続きまして、小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 理科は難しいと思うので、先生方が一番使いやすい、理解しやすい教科書が分か

りやすい教科書なのかなと思って、先生方の意見を参考にしながら、私は教育出版を選びました。教育出版は問題から予想、計画、それから観察に行つて結果で、最後にまた学びを広げる、発展的な考え方のような、学習の流れが確かにはっきりしています。教科用図書調査研究部会の調査の結果でも、若手の教員もベテランの教員も流れに沿って進めていけば授業ができるように構成されているということです。先生方は教えるのが上手なので、先生方が理解しやすいということは、きっと子どもたちにも分かりやすい教科書だと思うので、教育出版にしたいと思います。

それから、保護者の視点としては、やはり注意点や勉強をするに当たって実験をする時に気を付けなければいけないことなどもページの最後にまとまって載っていて分かりやすいので、これはとてもポイントが高いなと思いました。

以上です。

○栗原教育長 私からも理科について意見を申し上げます。

私も総合的に見て教育出版を推したいと考えております。理由としましては、全ての単元が問題、観察、実験、結果、結論という構成となっており、授業の構成を作りやすいこと。ページの構成も配慮されており、特に観察実験の結果が違う2択になっていること点、また、各単元の学年ごとの系統性が冒頭に分かりやすく示されている点、こういった点を評価したところでございます。

それでは、教育委員の皆さんにご意見を賜りましたが、理科につきましては教育出版ということで最終的にまとめてまいります、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、理科につきましては教育出版ということでまとめてまいります。

次に、生活に対してのご意見をお願いします。石本委員、お願いいたします。

○石本委員 私は最終的に新興出版社啓林館の教科書がいいかなと思います。単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」というとても分かりやすい構成になっています。生活科は探究心がやはりキーワードかなと思っているのですが、場合によっては教科書やタブレットを持って校外に出るといった活動もきっとあるだろうなと思いますけれども、教科書が小さめというのもいいですし、デジタルコンテンツがとても充実している点もいいと思います。やはり教科書の中身が、子どもたちがわくわくするような仕組みといいますか、取組といいますか、そういう構成になっておりますので、探究心、興味を持ってわくわくするのではないかなと思いました。

以上です。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も最終的には新興出版社啓林館を推そうと思っております。学校図書の活動のつながりなどはいろいろな意味でなかなかいい教科書ではないかなと思っていたのですが、何しろ今の時期、手洗いということに関する表現だけを見ると、やはり新興出版社啓林館が

とても分かりやすいと思いましたので、新興出版社啓林館を推薦したいと思っております。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。小林委員、お願いいたします。

○小林委員 私も新興出版社啓林館がいいと思います。生活科は、学校に入ったばかりの1年生にとってはとても楽しい授業だと思いますが、「がっこう だいすき いちねんせい」と書いてあります。学校は楽しいな、あしたも学校に行きたいなという意欲を高められるようにすることが大事で、教科書として新興出版社啓林館はとても楽しい雰囲気が出ていると思いました。裏表紙のところに自分のマークを書こうというのがありますが、名前を書くのが普通ですけれどもマークを付けるというのは少し工夫があるなと思いました。

それから、保護者の協力というのも生活科にとっては大事で、必要になってくるかと思いますが、保護者の皆さまへという内容が目立つ感じですが、東京書籍もかなり大きく裏表紙にそういう内容が出ていましたけれども、それもいいところかなと思いました。

それから、登場人物も多様性に富んでいて、新興出版社啓林館だけではなく各者それほども配慮がされていて、いいことだと思います。あとは、光村図書のヨシタケシンスケさんのイラスト、これは見ていてとても楽しくて魅力的でした。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も新興出版社啓林館を選びたいと思います。全体的にどの単元も「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」のように、次に何をやったらいいかというのが分かりやすくなっているというのがいいのかなと思います。

先生方の意見の中にもありますが、少し小さくて持ちやすいという点もいいと思います。確かに子どもはそれを持って外に出かけて葉っぱを見に行ったり虫を見に行ったりするので、やはり持ちやすいというのはいいと思います。

それから、「びっくりずかん」というのがあって、他者の教科書も素晴らしいのですが、それもとても興味をそそられるもので、もっと見たいなという気持ちにつながるのかなと思いましたので、新興出版社啓林館を選びたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 私からも生活について意見を申し上げます。

総合的に見て私も新興出版社啓林館を推したいと考えております。まず、一番推したい部分は、やはり図鑑機能の充実ということでございます。それと、例えば78ページのところで鳴き声を聞くことができるような2次元コードが用意されていたりという工夫も、大変評価をしたところでは。

先ほど小林委員から話がありましたが、インパクトは光村図書があったというのを私も感じているところでございますが、先ほど申し上げたとおり総合的には新興出版社啓林館を推したいと思っております。

それでは、教育委員の皆さまのご意見を賜りましたが、生活につきましては新興出版社啓

林館ということで最終的にまとめてまいります、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、生活につきましては新興出版社啓林館ということでまとめてまいります。

次に、音楽に対してのご意見を伺います。石本委員、お願いいたします。

○石本委員 音楽も二者択一ということで、前回私は教育出版と言い切ったと思います。音楽の教科書は、特に小学校はとにかく楽しいことが大事です。教育芸術社は、少し織り込み過ぎなのかなと思います。小学生の音楽の教科書としては、楽曲数も充実していますし、多様な楽しみ方というのでしょうか、それが味わえる教科書ではないかと思います。

以上です。

○栗原教育長 続きまして、伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 やはり二者択一というところで比較することが重要になってきますが、最初この教育芸術社の教科書を選んだ時には、何しろいろいろな情報がたくさんあって、かゆいところに手が届くような表現がたくさんあるので、いいのではないかなという考え方を持っておりました。ただ、立川の場合には専科が教えるということです。それほど音楽に詳しくない方が子どもたちに教えるという場合には情報がたくさんあったほうが教えやすいのかなという気もいたしますけれども、やはり専科が教えるには逆に情報が多過ぎてかえって邪魔になってしまうのではないかなというご意見をいただきました。それはそうだなと考えて、今回は教育出版の教科書を薦めたいなと思っております。

以上でございます。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 教育出版がいいと思います。前回も申しあげましたけれども、イメージが膨らみやすいような美しい写真が何カ所にも見られます。音楽はただ音符どおりに歌を歌えばいいとか、楽器を演奏すればいいということではなく、そのイメージを自分が理解してそれを膨らませることが大事だと私は思っています。低学年は特に経験も少なく、なかなかどのようなことを想像していいかというのが想像しづらいかと思います、この写真があればイメージが浮かびやすいと思います。本当にきれいな写真がたくさんありました。歌詞を大事にしている縦書きも幾つもありましたので、その考え方に共感いたしました。

あとは、細かいところでいうとオーケストラの配置が分かりやすいとか、楽器そのものではなくて人が演奏している写真が載っているとか、6年生ではストリートピアノのページがありました。

教育芸術社で印象に残ったのは、6年生のところで音楽の持っている力や役割というメッセージが載っていた点です。楽しむだけではなく、一体感が味わえる、人と人をつなぐ、メッセージを伝えるといったことが書いてありました。それと、教育芸術社はQRコードがほとんど全ページに載っています。全部は聞かせませんが幾つか見てみると、楽譜のメロディーが流れてきます。だから、楽譜を見てこういうメロディーだというのが分かるようにな

っていて、どのような曲か知りたいという時には、授業で使わなくても自分で興味を持って調べられるという意味ではいいのかなとは思いますが。ただ、メロディーというだけなので、もう少し美しい演奏が聴けたらいいかなと思いました。

ということで、教育出版を選びたいと思います。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も教育出版を選びたいと思います。理由としては、やはり先生方のコメントも教育出版のほうが多い気がしたからです。私の中で一番の決め手となったのは、楽譜や歌詞が読みやすい上に楽曲数が多く児童にとって楽しいという点です。音楽は楽しいのが一番だと思います。いろいろな曲に出会って、いろいろな歌を歌って、楽しくみんなでゲームをしたりといったことによって音楽に興味を持てると思うので、教育出版がいいと思います。

もう一ついいなと思ったのは、英語の歌が入っていて、これは確かに日本人の子どもにとったら英語の曲を学べるというのがありますが、逆に今多様性が進み、いろいろな国から来ている子がいますので、英語圏の子たちがこの曲を歌って少しほっとするような、そういった側面もあると思うので、教育出版を選びたいと思います。立川は音楽の専門性も高いとお伺いしているので、先生方にたくさん音楽の楽しさを教えていただきたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 では、私からも音楽について意見を申し上げます。

一つが情報量をどう判断するかということでございます。前回のところでそこがポイントとありました。その中で、教育芸術社は非常に情報量が多いですが、これが逆にマイナスに私は感じましたし、情報量は各ページ少なく、その分曲数が多いほうが活動を通じて学習に取り組みやすいと、そう考えている教員も多いです。そういうことを鑑みただ中で、教育出版を推したいと考えております。

それでは、教育委員の皆さまのご意見を賜りましたが、音楽につきましては教育出版ということで最終的にまとめてまいります。皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、音楽につきましては教育出版ということでまとめてまいります。

次に、図画工作に対してのご意見をお願いいたします。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 私は前回、図画工作で2者のうちどちらか決めかねている、分からないと申し上げましたけれども、しっかり吟味してまいりました。やはり、創作をする、それから当然ですけれども子どもの多様性というのでしょうか、その子の感性であったり感じたこと、それを大事にしていく教科書がいいなと思います。

そういう意味では、子どもたちの好奇心や意欲を引き出す、それから多様性を尊重する態度、それがやがては豊かな感性を育むことにもつながるのかなと思っています。また、活動の流れも分かりやすいだろうなということで、日本文教出版を選びたいと思います。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も本当に2者それぞれいいところがあって、最初のメモでは分からないと書きました。その中で、音楽でも委員の方々がおっしゃっていたように、楽しいというところが図工にもとても必要なのではないかなと思います。教科用図書調査研究部会でも分かりやすく意欲が引き出されるという形で推薦している日本文教出版を、私も推薦したいなと思っております。

以上でございます。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 私も日本文教出版がいいと思います。といいましても、やはり私もどちらもいいなと思いました。進め方も材料もはっきりしていて、学習の目当ても出ていますし、片付けたり振り返ったりもきちんと出ていますので、授業の流れは同じような形で表されていますが、一番の違いは作品の数かなと思いました。前は、あまり多いと自分のクリエイティブな感性が制限されてしまうのではないかという気もしていました。でも、いろいろなものを見ないとその感性も生まれてこないという気もしてきました、やはりいろいろな作品に触れるということは大事なのかなと思うようになりました。日本文教出版は、作品数が多いですし、2次元コードのところではほかの作品がとてたくさん出てきます。お友達の作品を開隆堂出版よりも多く見ることができるという点で、いいのかなと思いました。

それから、5・6年の9ページにフェアレ立川のアートが出ていましたので、それも魅力でした。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も日本文教出版を選びたいと思います。先生の見ると本当に半々で、どちらも同じぐらいの数の先生が、開隆堂出版がいい、日本文教出版がいいという感じに分かれていて、非常に難しいなと思いましたが、用具の使い方の解説が分かりやすいという点で、図画工作も絵の具を使ったり彫刻刀を使ったり危ないものがありますので、やはり使い方が分かりやすいほうが先生も指導しやすいだろうし、子どもたちも気を付けるためにいいかなと思いました。

あとは、先ほど小林委員もおっしゃっていましたが参考作品例が多いというのも、「こんなものがあるんだ。じゃあ、僕はこんなのを作ってみよう」というところで何か参考になって、もっと自分のやりたいことを広げていけるのではないかなと思います。

以上です。

○栗原教育長 私からも図画工作について意見を申し上げます。

日本文教出版は紙面構成がすっきりと整理されており、またポイントや気を付けることがより分かりやすく示されている、そのように評価をしまして私も日本文教出版を推したいと考えております。

それでは、教育委員の皆さまのご意見も賜りましたが、図画工作につきましては日本文教

出版ということで最終的にまとめてまいります、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、図画工作につきましては日本文教出版ということでまとめてまいります。

続きまして、家庭に対してのご意見をお願いいたします。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 前回も家庭科については、立川市は専科がないというお話もありましたけれども、私は東京書籍を選びたいと思っております。開隆堂出版のほうは、やや専門的というのでしょうか、記載が多岐にわたって細かいということもあります。専科の先生は大丈夫でしょうけれども、やはりどの先生も指導しやすいということも大事です。そういう点では2次元コードからのリンク先がページごとに分かれているので、とても使いやすいです。先生も子どもたちも分かりやすい教科書ではないかと思えます。

以上です。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も専科がないということで、やはり教える先生方が分かりやすい教科書がいいのではないかなど考えております。例えば、切り方、むき方、縫い方、ミシンの扱いやすさなど、写真やイラストが丁寧でとても分かりやすいという先生方の意見を取り入れると、東京書籍がいいのではないかなど考えております。

以上でございます。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 私も東京書籍がいいと思えます。今お2人からありましたように詳しく書かれているということ、「家庭科の窓」というところで「あなたの生活をよりよく変えていく教科です」と家庭科の大切さ、必要さを表現しているというところも良かったところです。それから、「プロに聞く！」というコーナーもあり、その道のプロの話も出ていました。最後にあなたは家庭や地域の宝物という表現があって、これは少し心が引かれました。開隆堂出版のほうは共に生きる地域での生活となっていたので、表現の問題ですけれども引かれました。

そして、2次元コードで、全部見たわけではありませんが、ご飯の炊き方を見ました。教科書では東京書籍はガラス鍋で炊いたところの写真で炊き方の変化が出ていまして、それは中がよく見えるようにということだと思いますが、開隆堂出版の場合は中が見えるガラス鍋と金属鍋の両方が出ていました。動画ではとても詳しく炊き方が出ていまして、お米の洗い方のところで東京書籍は1回目を洗ったら白くなっているとぎ汁を取っておくとなっております。それは次に食器を洗う時に使ったりと、水を無駄にしないためというところまで非常に細かい配慮をしているというのは感心しました。今は炊飯器でご飯が炊けるのになぜ炊き方をやるかというのは、キャンプや災害の時、電気やガスが止まった時にもご飯が炊けるようにということだということも示されていて、非常に細かい配慮がされているなと思いました。

それからミシンのところでは、東京書籍はリメイクという部分がありまして、古着を別のものに作り替えるという内容で、これもリサイクルの精神で大事な部分だなと思いました。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も東京書籍を選びたいと思います。理由は、立川は家庭科の専科の先生が少ないという状況も考えて、子どもたちが自主的にこういうことをやってみたい、ああいうことをやってみたいという、もっと先を深めようといった単元があったほうが良いと思うからです。そういう単元が東京書籍にはあるので、動画や図も見やすく、自分で学ぶことができるというのがいいかなと思います。先生の意見でも全体的に東京書籍が見やすいというコメントがあります。

それから、もう一つ最後に私の決め手になったのは、教科用図書調査研究部会の資料で活動場面の表現に男女差がなく、性別に関する配慮がなされているというところです。確かに家庭科はどうしても女性のものといったところになりがちだと思いますが、そこをそうならないように教科書が満遍なく男子も女子も平等に活動するというのを見せているというのは、とてもいいことだと思います。立川の子どもたちもそういう性差を考えない、決め付けないで育ってもらいたいなと思って、こちらの東京書籍を選びます。

以上です。

○栗原教育長 では、私からも家庭について意見を申し上げます。

総合的に見て東京書籍を推したいと考えております。理由としましては、全ての単元においてステップごとに目当て及び振り返りが明示されており、見方、考え方を働かせて学習活動が可能であると考えからです。指導上の留意点について先に学んだ事項であっても記載があり、指導する上で配慮を欠かせない作りとなっているところを評価いたしました。

それでは、教育委員の皆さんのご意見を賜りましたが、家庭につきましては東京書籍ということで最終的にまとめてまいります。皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、家庭につきましては東京書籍ということでまとめてまいります。

次に、保健に対してのご意見をお願いいたします。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 保健については、保健と体育ということで実技以外のことを学ぶわけですが、そう考えますと授業時間がそれほど多くあるわけでもないで、やはり見やすいということはとても大事なかなと思います。あとは、やはり多様性への配慮です。当然見やすいことは子どもたちが理解しやすいということにもなりますし、先生方にとっては使いやすいという意味で、大修館書店がよろしいかと思えます。

以上です。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 各者多様性ということに関する表現はとてもよく研究されているのではないかなとは思っていますが、やはり今石本委員がおっしゃったように大修館書店はそれがとても分かりやすく出ています。それからもう一点は、先ほどの手洗いも同じですが、感染症に対する記述がとても分かりやすいということも現代では重要なのかなと思いますので、大修館書店を推薦したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 大修館書店がいいかと思います。時間内の流れが分かりやすいですし、2次元コードのところでクイズ形式になっているので、これは見れば復習に使えるかなと思いました。ただ、全体的に保健でぜひ扱ってほしいLGBTQ+の内容が乏しいかなと思いました。多分学習指導要領では取り上げることはなっていないのかと思いますけれども、時代がどんどん進んでいますので、やはりもう知識としてLGBTQ+は必要かと思います。大修館書店は思春期の悩みというところで「みんなちがって、みんないい」という詩まで載っていますけれども、これは思春期の成長の差の違いのような表現と私は読み取りました。LGBTQ+が入っているかなと思いました。

あと、学研の性についての多様性は、「発展」と書いてありましたけれども、ここではっきり取り扱っていません。東京書籍は資料の2次元コードの中に自分らしさ、体の性、心の性、好きになる性、表現したい性といった点について詳しく出ていました。

ただ、教科書の本文では触れていません。光文書院は特にないですし、文教社も違いについての不安というのはありましたが、詳しい説明はなく、大日本図書は「もっと知りたい」という巻末のページでLGBTQという言葉が出ていました。

やはり、差別や偏見をなくすというのは、悩んで相談しなさいというのではなくて、もうみんながそのことを知っていて何の偏見もなく接することができるということが大事なので、ぜひ保健の教科書で、思春期のところで取り扱ってほしいかなと思いました。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 保健に関しては、これもなかなか難しい教科だと思うので、分かりやすい、見やすいということも重要なかなと思いました。先生たちの意見を見ると、まずデジタルコンテンツが充実しているとか、見やすく分かりやすいというところの評価が高いかなと思いました。加えて、コロナの正しい情報を得ることが大事とか、SNSのルールのことなど、ここ最近の出来事できちんと正しい情報を得ましようといったことをとても重要視しているなという点で、大修館書店を選びたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、私からも保健についての意見を申し上げます。

私も総合的に見て大修館書店を推したいと考えております。やはり保健というこの科目については、限られた時間数の中で指導するということが大きなポイントとなっております。

その中で、1 単位時間の流れが分かるように紙面が構成されている点について、この大修館書店が優れていると評価をしたところでございます。

先ほど小林委員から LGBTQ、性自認や性的指向についてのさまざまなご意見があったところでございます。その中には大修館書店の書き方も一部物足りなさがあるのかもしれませんが。そのことにつきましては、また授業の中で LGBTQ のことについて取り上げていただき、いわゆる差別、偏見等がないような形での取組が望ましいのではないかと考えています。

それでは、教育委員の皆さんのご意見を賜りましたが、保健につきましては大修館書店ということで最終的にまとめてまいりたいと思いますが、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、保健につきましては大修館書店ということでまとめてまいります。

次に、英語に対してのご意見をお願いいたします。

石本委員より、お願いします。

○石本委員 前回、石本が苦手な分野だというお話をしたと思いますが、やはり英語、特に小学校の英語は、まず楽しく活動するためのアイテムであって、そこから苦手意識を生まないような取組が大事だなと思っています。他者と比べると光村図書は、書く作業よりもやはり話をしていくスピーキングのことについて焦点化されていて、小学生が英語と触れる、使って楽しいという体験を大事にしているのではないかなと思います。

以上、光村図書でよろしく申し上げます。

○栗原教育長 伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私ども古い人間にとっては英語を教えるというのがなかなか難しいところなのかなと思ってしまいますが、学校に行って子どもたちの授業を見せてもらうととても楽しそうにやっています。これからの子どもたちにはこれが必要なのだなと思っております。

例えば、東京書籍の教科書はとても分かりやすくいいかなと思っていますが、やはり伝え合う力が身に付くとか、学びやすく教員にとって教えやすい教科書であるといった意見も教科用図書調査研究会では出ております。それよりも、むしろ楽しくテンポよく学べるというところで、教科用図書選定検討委員会のほうで書いてくださっている光村図書のほうがこれからの子どもたち、特に小学校の英語には必要なのかなという気がいたしますので、推薦したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 光村図書がいいかなと思います。英語は表現することがどうも日本の教育の中では弱いらしいので、そこを重点的に補ってもらいたいなと思っています。それで、光村図書の場合は巻末に自分で文を作って表現するといった復習になるページがあります。「All About Me」でしたか、自分を表現するというページがあるので、これはいいかなと思いました。そして、巻末のところに「Dictionary」というのがあって、コミュニケーションの場合

はお互いに相づちを打って話すということが大事なので、その辺のやり方が、相づちや共感するような返事ができない時はどうしたらいいかといったものが出ています。

それで特に印象に残ったのが、「分かりません」と言う時に「I don't know.」と答えますが、ほかの教科書も全てそうになっていましたが、光村図書だけは「I'm sorry. I don't know.」で、「I'm sorry.」を付けるとクッションができるよといったことが書いてありました。私もこれは大人になるまで知らなかったのですが、学校で先生に質問されて答えられない時には「I don't know.」でいいけれども、人との会話の時にはそれでは少しぶっきらぼうな感じがするというのを聞いたことがありました。または「I'm not sure.」、これを使うということが光村図書に出ていて、そこを見つけた時にはとてもうれしくなりました。そのようにとても細かい配慮がされているなという感じがして、光村図書がいいかと思えます。

ほかのところでも少し書き込み欄の多い教科書もありましたが、もっと会話を中心にしてもらいたいという気がしました。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も光村図書を選びたいと思います。理由としては、先生方は光村図書が分かりやすいというコメントが多いなという印象がありまして、先生が教えやすいのがまずいいと思うからです。小学生にとっての英語というのは音楽のような感じで楽しんでもらいたいという思いがあるので、確かデジタル教科書の操作が使いやすいとか、コンテンツもたくさんあるので、これもやってみたい、あれも聞いてみたいといったところで意欲的に学んでくれるかなと感じました。

光村図書のもう一つの決め手が、フォニックスの練習が豊富で、確かにスピーキングに非常に力を入れているイメージがあります。このフォニックスの練習が豊富であることが今後英語好きな子どもたちが増えてくれるのか、それともそうではないのか少し分かりませんが、ほかの教科書とは違うところなのでここを気にしながら見ていきたいなと思います。光村図書を選びます。

以上です。

○栗原教育長 では、私からも英語について意見を申し上げます。

各委員と重複するところが多くて恐縮ですが申し上げます。総合的に見て私も光村図書を推したいと考えております。理由としましては、各ユニットの冒頭に指導の段階が分かりやすく提示されている点、また、書くことの分量、これが多過ぎない点、それと、デジタル教科書は操作性が良く授業でも活用しやすい点、こういった点を評価いたしました。

それでは、教育委員の皆さまにご意見を賜りましたが、英語につきましては光村図書ということで最終的にまとめてまいります。皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは英語につきましては光村図書ということでまとめてまいります。

次に、道徳に対してのご意見を申し上げます。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 道徳という教科は、やはり多様な価値観を認めて育てていくということが大事だと思います。光文書院は、人の生き方を通して自分のこととして教材について考えていく、自分なりの考えを深めていく、そういう扱いになっています。見開き2ページですっきりまとまっているということと、学習の流れが分かりやすく展開されていますので、先生方にとっても指導しやすいのではないかと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 何しろ道徳は先生が教えればよいという形ではないので、やはり子どもたちの意見をどれだけ引き出しやすいかということになるとは思います。ですから、そういう意味で今までの実績から考えて東京書籍はきちんとしていい教科書であるなと思いますが、その中でやはりいじめということに関する対処ということから考えて、対処ではなくてそういう雰囲気を生まないようにするにはどうしたらいいのかといった表現が、私としては光文書院が一番出しているのではないかなという気がいたしますので、光文書院を推薦いたします。

○栗原教育長 小林委員、お願いいたします。

○小林委員 光文書院がいいと思います。道徳に関しては本当に考えてほしいという教科ですよ。光文書院は各単元に「かんがえよう」が2つと「まとめよう」と「ひろげよう」と、考える内容の問い掛けが4つあります。ほかのところは2つや3つですが、常に4つそろっているというのは、深く考えさせる、考える機会を多くするという意味でいいのではないかなと思いました。「かぼちやのつる」という内容のものがあって、かわいいイラストで吹き出しがあります。光文書院は4つ考えさせていますが、今は細かく申し上げませんが、ほかのところと比べてみて、とても深く考えられる内容ではないかなと思いました。

それから、今ありましたようにいじめを生まない心というテーマの内容が各学年に入っているということです。ほかの発行者の教科書もいじめに関しては入っていますけれども、これは必須かなと思います。

巻末に顔マークでにこにこしたり悲しかったりといった気持ちを書く欄もあるので、それも楽しく学べる一つかなと思ひまして、光文書院がいいと思います。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 私も光文書院を選びます。理由としては、ほかの委員もおっしゃっていたように「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」と流れがもうできていて、今何を考えなければいけないのかとか、今何をしなければいけないのかというのが分かりやすいと思うからです。分かりやすいということは何が書いてあるか分かっているから、自分の意見を考えられるかなと思います。

あとは、教科用図書検討委員会や教科用図書調査研究部会の意見も見ていると、自分事として考えやすい教材が多いというコメントがありまして、確かにいじめを生まない、いじめ

をしないように、いじめにならないようにといったところに非常に重点を置いているなどというイメージがあります。2年生の道徳の教科書で靴を隠すとか陰口は駄目だよというのをしっかり書いて、ぼんやり書くのではなく、このぐらい強く書いたほうがいいと思います。

自分事として考えやすい教材が多いという部分、あとは「ひろげよう」「かんがえよう」「まとめよう」と考える流れが決まっているという部分、この2つで光文書院を選びたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 私からも道徳について意見を申し上げます。

私も総合的に見て光文書院を推したいと考えております。理由としましては、これも少し重複する部分がございますが、1つの教材に対して4つの発問が設定されていること、授業が道徳的な課題をしっかりと考え議論をする、対話することができる内容となっております。発問の内容も練られておりまして、若手教員からベテランまで示されている発問でしっかりと授業を進めることができると考えております。以上の点が優れていると考え、光文書院を推したいと思います。

それでは、教育委員の皆さんのご意見を賜りましたが、道徳につきましては光文書院ということで最終的にまとめてまいります、皆さま、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。それでは、道徳につきましては光文書院ということでまとめてまいります。

長い間ご協力をいただきましてありがとうございます。それでは、ここで協議結果について改めて確認をさせていただきます。国語につきましては東京書籍、書写につきましては光村図書、社会につきましては教育出版、地図につきましては帝国書院、算数につきましては東京書籍、理科につきましては教育出版、生活につきましては啓林館、音楽につきましては教育出版、図画工作につきましては日本文教出版、家庭につきましては東京書籍、保健につきましては大修館書店、英語につきましては光村図書、最後道徳につきましては光文書院という結果でございますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 では、ご異議ございませんので、令和6年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、を追加議案としてご提出させていただきます。それでは、事務局は追加議案の審議の準備をお願いします。なお、追加議案につきましては、資料の準備ができ次第、議事日程のその他の後にお諮りをいたします。

それでは、5分ほど休憩を取りたいと思います。57分から再開したいと思いますので、よろしく願いいたします。

午後2時52分休憩

午後2時57分再開

○栗原教育長 それでは、会議を再開いたします。

◎議 案

(1) 議案第 33 号 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について

○栗原教育長 続きまして、1 議案 (1) 議案第 33 号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、を議題といたします。

小林教育総務課長、説明をお願いいたします。

○小林教育総務課長 議案第 33 号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、ご説明いたします。

こちらの点検・評価の報告書でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理運営及び執行の状況について点検・評価し、その内容をまとめたものでございます。

点検・評価の対象は令和 4 年度における教育委員会の 3 つの活動、及び教育委員会所管の 4 つの分野別個別計画である第 3 次学校教育振興基本計画、第 6 次生涯学習推進計画、第 3 次図書館基本計画、及び第 4 次子ども読書活動推進計画に掲げられている施策から抽出した 19 の施策となります。本報告書につきましては、本年 4 月の第 8 回教育委員会定例会において点検・評価に係る基本方針を定め、以降 3 回にわたり教育委員会定例会で協議等を行うとともに、行政と学識経験者 3 名との意見交換会を実施し意見聴取を行った上で内容を取りまとめ、再度教育委員の皆さまから頂戴したご意見を反映し、本日、議案として提出したものでございます。

なお、こちらの報告書につきましては、10 月の市議会文教委員会にて報告するとともに、市ホームページにて公表いたします。

よろしくご審議いただきご承認くださいますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 質疑はないようでございます。それではお諮りをいたします。1 議案 (1) 議案第 33 号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、議案第 33 号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、は承認されました。

◎議 案

(2) 議案第 34 号 令和 6 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、1 議案 (2) 議案第 34 号、令和 6 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、を議題とします。

片山統括指導主事、説明をお願いいたします。

○片山統括指導主事 それでは、議案第 34 号、令和 6 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、ご説明いたします。

資料の令和 6 年度使用立川市立中学校教科用図書採択一覧をご覧ください。

現在、市内の中学校では令和 2 年度に採択された教科用図書を利用しております。社会科の歴史分野におきましては、令和 3 年度にもご協議いただきましたが、令和 2 年度と同様の教科用図書を採択していただいております。現在使用中の教科用図書は、十分な調査研究の結果を踏まえて採択がなされており、本年度の教育活動においても確実に活用され、子どもたちの学びを支えていることから、令和 6 年度使用教科用図書採択については、令和 2 年度、3 年度に採択された教科用図書と同一のものを採択することとするものです。よろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願いいたします。

説明は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 質疑はないようでございます。それではお諮りをいたします。議案 (2) 議案第 34 号、令和 6 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、議案第 34 号、令和 6 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、は承認されました。

◎議 案

(3) 議案第 35 号 令和 6 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、1 議案 (3) 議案第 35 号、令和 6 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、に入ります。

片山統括指導主事、説明をお願いいたします。

○片山統括指導主事 それでは、議案第 35 号、令和 6 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、ご説明いたします。

小学校特別支援学級で特別な教育課程を編成している場合、学校教育法附則第 9 条及び同法施行規則第 139 条の規定により、当該学年用の文部科学省検定済み教科書、いわゆる通常の教科書を使用することが難しいという判断がなされた時は、当該学校の設置者の定めると

ころにより、他の適切な図書を教科書に代えて使用することができることとなっております。

本案は、お配りした採択一覧により、立川市立小学校特別支援学級が令和6年度に教科用図書として使用する図書の採択をご提案するものです。

なお、採択一覧にある図書につきましては、東京都教育委員会が調査研究をし、適切な図書としているものの中から、各学校が十分に調査研究を行い、選定し、ご提案申し上げます。よろしくご審議の上、採択いただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

小林委員、お願いいたします。

○小林委員 確認ですけれども、今、学校の設置者によって決められるというお話がありましたが、設置者というのは校長先生ですか。その辺は実際に教えていらっしゃる先生が一番分かるのかなと思いますが、実質的にどなたが決めていらっしゃるのかをお聞きしたいです。

○栗原教育長 片山統括指導主事、お願いいたします。

○片山統括指導主事 実際に具体的な内容を選定するのは学級の先生たちが中心となりますが、それを教育委員会で取りまとめて、今回議案のような形で提出をし、ご協議いただくということになっております。

説明は以上です。

○栗原教育長 ほかはいかがでしょうか。

小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 選定理由一覧のところですが、結構重度な子もいて、軽度な子もいて、中度の子もいてばらばらだと思います。単純な質問ですが、例えばどこかのページで中度の子と軽度の子が同じ教科書を使うというパターンがあったと思うのですが、そういうことは可能なのでしょうか。

○栗原教育長 片山統括指導主事、お願いいたします。

○片山統括指導主事 発達段階もしくは学年に応じて指導者がその子に合ったものを検討して選定していますので、簡単に言えば違っていても指導ができるという認識でおります。

以上です。

○栗原教育長 ほかにいかがでしょうか。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 質問ではありません。各特別支援学級の先生方が、子どもたちに適した教科書ということで工夫してお使いになると承知をしております。学級といえども、まさに子どもたち一人ひとりによって状況というのは異なりますので、その状況に合った教科書を選んでいらっしゃるのだらうと思っています。各学校でこの教科書でと出されているのだと思いますので、私はそのことを支持したいと思っています。

以上です。

○栗原教育長 ほかはいかがでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 ほかに質疑はないようでございます。それではお諮りをいたします。1 議案 (3) 議案第 35 号、令和 6 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、議案第 35 号、令和 6 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、は承認されました。

◎議 案

(4) 議案第 36 号 令和 6 年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、1 議案 (4) 議案第 36 号、令和 6 年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について、に入ります。

片山統括指導主事、説明をお願いいたします。

○片山統括指導主事 それでは、議案第 36 号、令和 6 年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について、ご説明いたします。

中学校特別支援学級においても、先ほどの小学校と同様に特別な教育課程を編成している場合、当該学校の設置者の定めるところにより、他の適切な図書を教科書に代えて使用することができることとなっております。

本案は、小学校と同様に、東京都教育委員会が調査研究をし、適切な図書としているものに加え、学校独自の調査においても適切な教科用図書だと認める図書の中から、各学校が十分に調査研究を行い、選定し、ご提案申し上げるものでございます。よろしくご審議の上、採択していただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 質疑はないようでございます。それではお諮りをいたします。1 議案 (4) 議案第 36 号、令和 6 年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、議案第 36 号、令和 6 年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について、は承認をされました。

◎報 告

(1) 西砂図書館の臨時休館時における実施するサービス内容の変更について

○栗原教育長 続きまして、3 報告 (1) 西砂図書館の臨時休館時における実施するサービス内容の変更について、に入ります。

池田図書館長、説明をお願いいたします。

○池田図書館長 それでは、西砂図書館の臨時休館時における実施するサービス内容の変更について、ご報告いたします。

本件につきましては、立川市西砂学習館中規模改修工事において図書館部分の改修工事が行われるため図書館条例の規定に基づき臨時休館することにつきましては、令和 5 年 7 月 13 日の第 13 回教育委員会定例会でご承認いただいたところです。今回、臨時休館時における実施するサービス内容に変更が生じたのでご報告いたします。

第 13 回教育委員会定例会からの追加・変更箇所は下線でお示ししております。

1、臨時休館対象館及び期間につきましては、館内立ち入り不可のところに「利用者の」を冒頭追加いたしました。

続きまして、2、実施するサービスは、予約本の受取、リクエストの受付、9 月 27 日、28 日、及び 10 月 2 日から 6 日の 7 日間、全てのサービスを休止する期間を追加いたしました。

3、周知であります。(1)「広報たちかわ」への掲載に、9 月 10 日号を追加いたしました。

(2)、公式 Twitter を図書館 Twitter に改めるとともに、立川市公式 LINE を追加いたしました。なお、図書館 Twitter は、市の広報課より、今後新たに市民、議会、庁内等向けに資料や印刷物を作成する場合は、原則 X (旧 Twitter) の表記を使用するように依頼がありましたので、図書館も今後そのように対応させていただくことといたします。

報告は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

これにつきましてもよろしいですか。

質疑はないようでございます。これで、3 報告 (1) 西砂図書館の臨時休館時における実施するサービス内容の変更について、の報告及び質疑を終了いたします。

次に、その他に入ります。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 その他はないようでございます。

続きまして、議案第 37 号、令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、を議題といたします。事務局は資料の配布をお願いいたします。

暫時休憩といたします。

午後 3 時 15 分休憩

午後 3 時 16 分再開

○栗原教育長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

◎議 案

(5) 議案第 37 号 令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、議案第 37 号、令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、を議題といたします。

片山統括指導主事、説明をお願いいたします。

○片山統括指導主事 それでは、議案第 37 号、令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、をご説明いたします。

先ほどは丁寧なご協議ありがとうございました。本日決定される小学校教科用図書、この後教科書と称します、については、令和 6 年度から全学年において本日決定される発行者の教科書を使用することが原則となっておりますが、社会科の 4 年生、5 年生、6 年生の地図帳、2 年生の生活科、2 年生、4 年生、6 年生の図画工作科、6 年生の家庭科、4 年生、6 年生の保健の教科書につきましては、今年までに配布された教科書を来年度も使用することとなっております。これは、複数学年にまたがる教科書等があるためでございます。

また、国語科、書写、音楽科、道徳科につきましては、学習指導要領が複数学年の指導内容を一体として示していることから、採択替えにより今年度と異なる発行者の教科書を使用することとなった場合、1 年生、3 年生、5 年生については採択変更後の発行者の新版教科書を使用し、2 年生、4 年生、6 年生においては採択変更前、いわゆる現行の発行者の新版教科書を使用することとなっております。ただし、書写につきましては今年度使用している日本文教出版が今回の採択では申請がなかったため、全学年が新たに採択する発行社の教科書を使用することとなります。

この件についてのご説明は以上となります。

それでは、先ほどご協議いただいた内容を踏まえまして、裏面のとおり一覧にまとめさせていただきます。ご確認いただきご承認くださいますようお願い申し上げます。

説明は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。

前半の片山統括指導主事の説明は、こちらの資料の米印のところを中心に説明したところでございます。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 質疑はないようでございます。それではお諮りをいたします。議案第 37 号、令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することに異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、議案第 37 号、令和 6 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、は承認されました。

以上をもちまして、本日の議題は全て終了いたしました。

◎閉会の辞

○栗原教育長 それでは、次回の日程を確認いたします。次回、第17回定例会は、令和5年9月7日午後1時30分から、208・209会議室で開催をいたします。

これをもちまして、令和5年第16回立川市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

午後3時20分

署名委員

.....

教育長